

取組全体の目的・概要:宮城県沿岸部の外国人交流人口拡大に資する留学生や教育旅行の数を増加させるため、復興の姿を発信しながら、宮城県への留学のPR・教育旅行の誘致を行う。

取組のモデル性:・留学前の下見ツアーを商品化、学校紹介や生活環境、被災地の復興の姿を実際に見ることで、安全安心を発信。
・いちご狩り体験や伝統工芸品仙台筆筒職人との対話など、宮城ならではの教育旅行プログラムを開発。

主な実施取組の内容

取組① 着地型商品の造成

留学下見と被災地の復興の姿を見るツアー商品の造成。
商品名: Miyagi Study Abroad Inspection Tour
＜主な視察先＞
①宮城県内の大学・専門学校・日本語学校・高校の留学環境の下見
→実際に学校や生活環境を視察し、留学の不安を払拭
②宮城県沿岸部の被災地視察
→被災地域の復興の姿を見て、安全安心の発信
宮城県内に新しく出来た復興・防災コンテンツの活用
【人気の高かったツアー商品の訪問先】
学校・生活環境視察、荒浜小学校、名取関上にて海鮮丼、千年希望の丘
いちご狩り体験、仙台定義如来



■パンフレット

取組② 海外販売/プロモーション

・旅行博・留学フェアへ出展し、プロモーション活動を展開、宮城への留学を提案する下見ツアーの販売
・海外旅行会社による商品販売(計10社)
台湾:2社、中国:2社、香港:1社、タイ:1社、マレーシア:2社、ベトナム2社



■留学フェアでの留学希望者との商談

取組③ 海外学校への教育旅行誘致活動

海外学生向け教育旅行プログラムを造成し、海外の大学・高校等へ直接訪問、研修担当者へのPR活動や学生向けの説明会の開催
・教育旅行プログラム提案学校数(全136校)
タイ4校・中国2校・台湾124校・香港2校・マレーシア2校・ベトナム2校
・中国の旅行会社商談会でのPR(20社)
【誘致できた教育旅行の訪問先】
いちご狩り体験、仙台名物セリ鍋、松島観光、東北大災害科学研究所にて震災についての講義、弓道体験、日本舞踏体験、仙台筆筒職人セッション



成果目標	実績
◆旅行商品 10コース	○10コース
◆送客人数	○下見ツアー商品販売実績: ・国別実績(人数) 台湾55人 タイ11人 ・述べ泊数 103人泊
留学下見ツアー 100人	○66人
教育旅行 5件	○2件
	○教育旅行実績: ・中国 2件(20人×2団体) ・述べ泊数 180人泊

得られた成果

○留学の下見と宮城県沿岸部の復興の姿を視察できる旅行商品を造成することで、留学を希望する海外の学生や保護者の不安払しょくに繋がった。
○海外の大学へ直接訪問し、宮城独自の伝統文化・農業・大学による災害防災に関する講義等、独自性の高いコンテンツを盛り込んだプログラムを提案することで、宮城への教育旅行の新しい提案をして、賛同を得ることができた。

今後に向けた課題・活動の見通し

○留学生増加・下見ツアー販売促進に向けて、学校関係者・ホームステイ先・民間事業者・行政が一体となってオール宮城でプロモーションを推進していく。
○教育旅行受入促進のため、学校交流を受け入れる県内学校との連携を強化するとともに、ターゲットを絞り、アプローチを強化していく。